

中央労福協ニュース No.103 NEWS LETTER

労働者福祉中央協議会（中央労福協）

発行人 大塚 敏夫

〒101-0052

東京都千代田区神田小川町3-8 中北ビル5F

Tel 03-3259-1287 URL <http://www.rofuku.net>

第5回幹事会で2015年度活動計画等を決定

中央労福協は2月4日、東京・明大紫紺館で第5回幹事会を開催し、2015年度の主要年間日程と活動計画等を決定した。

2年サイクルの活動の後半にあたる2015年度は、昨年11月の第6回加盟団体代表者会議で確認された「2014～15年度活動方針の中間総括と

課題・補強」を踏まえて活動の具体化をはかるとともに、次の3点を重点課題として取り組んでいく。

＜2015年度の重点活動＞

① 貧困や多重債務のない社会に向けた政策・運動

奨学金問題を最重点課題に位置づけ、取り組みの視点や獲得目標、運動の進め方等を関係団体と整理しながら、5月以降に対策本部または連絡会議を設置し、国民運動や調査研究・政策提言等の具体化に着手するとともに、労働者福祉活動としてできることについても検討を行う。また、4月から施行される生活困窮者自立支援制度の定着・発展に向けた取り組みを進める。

② ライフサポート活動の検証と新たな展開に向けた合意づくり

2005年8月の4団体合意（連合、中央労福協、労金協会、全労済）に基づき実施されてきたライフサポート活動の検証作業を進め、今後のあり方についての合意形成をめざす。

③ 労働運動、労働者自主福祉運動の連携による協同事業の利用促進と共助拡大

協同事業団体の利用促進に向けた産別訪問活動、労働者福祉運動を担う人材の養成・教育活動、ライフサポート友の会（仮称）の具体化、労働組合と事業団体との連携、協同組合間協同の促進をはかる。

こうした重点課題の実現に向けて、昨年に引き続き秋に2015生活底上げ・福祉強化キャンペーンを行うなど、取り組みの全国展開・深化をはかる。その他、2015年度全国研究集会（6月4～5日、愛知県）、第62回定期総会（11月27日）など主な年間日程を確認した。

◆ カジノ解禁問題への対応を確認

カジノ解禁問題を含むIR推進（統合型リゾート）法案は昨年末に廃案となったが、同様の内容で今国会での再提出の動きもあり、ギャンブル依存症等の弊害をめぐって与党内でも賛否が割れている。本幹事会ではIR推進法案に関する経過や論点を整理し、観光振興は必要だが、労福協としては多重債務や依存症の問題に取り組んできた立場から、「これらの諸課題およびその対策が全く議論されていない中で、まず法案成立ありきの動向には賛成できない」ことを確認した。



2/4 開催した第5回幹事会

黒河新副会長

遠藤前副会長

◆ 遠藤副会長の後任に黒河副会長を選出

本幹事会で、7年間にわたって労福協活動に尽力された遠藤幸男副会長が、所属組織（東部労福協、東京労福協）の役員改選に伴って退任し、後任に黒河悟・東部労福協会長（千葉県労福協会長）を選出した。

幹事会に先立ち、1月28日に第3回労働組合会議を開催し、活動計画案の意見交換を行った。また、幹事会終了後に第3回ブロック事務局長会議を、2月17日には第3回事業団体会議を開催し、地方労福協や事業団体に関わる課題を中心に活動計画の具体化に向けた討議を行った。

西部労福協**第45回定期総会開催!**

～西部ブロックの活動情報の共有化と相互研鑽・連携強化で、労働者福祉運動の更なる発展に向けた活動を展開することを確認～

西部労福協第45回定期総会が2月19日、香川県高松市「オークラホテル高松」において、渡邊中央労福協副会長をはじめ7名の来賓と、中国・四国9県の労福協から役員・代議員・傍聴者を含め総勢76名が出席して開催された。

総会は、香川県の千田代議員を議長に選出して議事進行した。冒頭、伊丹西部労福協会長の挨拶に続き、来賓の紹介と挨拶に移り中央労福協・香川県・高松市・連合香川より挨拶を受けた後、議案審議に入った。

北島西部労福協事務局長より2014年度活動報告および会計決算報告を一括報告後、山根会計監査より監査報告が行なわれ満場一致で確認した。続いて、2015年度活動方針(案)、規約の一部改正、2015年度予算(案)、役員の一部交代が一括提案され、活動方針(案)では奨学金問題について、中央労福協と連携して具体的な活動を推進してほしいとの要望も出される中で、全議案とも満場一致で承認・決定された。

総会終了後は、香川大学の三野靖法工学部教授を講師に招き「地方創生と自治」をテーマに記念講演を受けた。

西部労福協は、各県の活動情報と課題の共有化を促進し、研修・交流事業を通じて連携・強化を図り、労働者福祉事業を発展させるため活動を展開していくことを確認し総会を終えた。

**東部労福協****第49回定期総会を開催しました。**

2014年12月4日、ホテルメトロポリタン高崎において、第49回定期総会を開催しました。

黒河副会長の開会挨拶の後、群馬県労福協の斉藤常務理事を議長に選出し、遠藤会長の挨拶に続き、開催県歓迎挨拶を群馬県労福協の北川理事長よりいただきました。来賓挨拶、祝電・メッセージ披露の後、大森事務局長より第1号議案から第4号議案までの提案を受け、満場一致の賛成多数で承認いただき、山梨県労福協の渡辺会長より第5号議案(役員改選案)の提案も満場一致で承認いただきました。(退任:遠藤会長・大森事務局長、新任:黒河会長・吉岡副会長・齋藤副会長・小松事務局長・山田事務局次長)

記念講演は、富岡製糸場世界遺産伝道師協会・会長の近藤功氏をお招きし、『「富岡製糸場と絹産業遺産群」世界遺産登録決定を受けて』をテーマに、登録に向けた10年間の活動を交えた大変興味深い講演でした。翌日は、実際に富岡製糸場を見学し感慨深いものがありました。

**定期総会開催****南部労福協**

南部労福協は2015年度定期総会を2月12日長崎市ワシントンホテルで開催した。総会には、沖縄を含む九州7県から役員・代議員・オブザーバーを含め65名の参加を得た。

来賓には中央労福協山本副会長、山崎望事務局次長、連合九州ブロック連絡会代表幹事高島会長、長崎県佛田労働部次長を迎え挨拶をいただいた。総会では、森会長の挨拶後、梶田事務局次長が議案提起し、全議案とも全会一致で承認された。

なお、今年度は役員改選にあたり、事務局は長崎県から佐賀県へ移動することとなった。新役員は、佐賀県労福協会長「相川司」氏、事務局次長には佐賀県労福協専務理事「吉浦明」氏が選任された。南部労福協は、①幹事会の充実強化、②ブロック研修会の充実、③理念・歴史養成講座の充実・強化、④福祉事業団体の支援強化、⑤中央労福協との連携等を重点的に取り組むことを確認し、「連帯・協同でつくる安心・共生の福祉社会」をめざす。

**労働者福祉南部ブロック協議会
2015年度 定期総会**
